

校長室だより



真岡東中 校長室だより

No. 142

2020/03/18/Wed

新年度まであと14日

パリ・コミュニケーションの発端 1871年

日本初の国産飛行機ができる 1931年

初の電卓を発表、1台50万円 1964年

ヴォスホート2号で人類初宇宙遊泳1965年

チーム東…生徒・家庭・教職員へ向けての校長通信

高め合い、磨き合い、感動し合い、「愛」いっぱいの真岡東中に！

真岡東中学校HPでもご覧いただくことができます

1・2年生登校日に令和元年度(2020年度)「修了式」を実施！

久々に生徒たちの笑顔と声が学校に戻る！

今年度最後の登校日に「修了証書」を授与！

— 交通事故や感染症に十分に気を付けて進級の準備を！ —

臨時休校(3/3～24)の措置が取られて約2週間…先週の9日(月)に感動の卒業式が終わって1週間。16日(月)は1・2年生の今年度最後の登校日でした。

本来なら24日(火)に行う「修了式」を今回はこの登校日に合わせて実施をしました。新型コロナウイルス感染症の予防対策のため、2年生は体育館、1年生は武道館と別々に「修了証書授与」と「式辞」を行いました。

久しぶり生徒たちの元気な声が校舎内に響き、はじけるような笑顔にも触れることもでき、中学校に活気が戻ってきました。やはり、中学校は生徒が活動する場であり、生徒不在では学校ではないとつくづく感じ

ました。いずれにせよ、新型コロナウイルス感染症が早く終息して、元通りの学校生活に早く戻れるようになることを願うばかりです。

さて、この日は朝日新聞の記者が来校し、修了式の様子を取材していました。早速、翌17日(火)の朝日新聞栃木版に「修了証書授与」の写真とともに記事が掲載されました。記者の方は「明るく元気で素直な生徒さんでしたが、インタビューには緊張してました」と感想を話してくださいました。ここで、修了式の「式辞」で述べた要旨を紹介します。

式辞(要旨)

1 1週間前は感動の卒業式。修了式は終業式と異なり、1年でやるべき学習等を全てやり各々がそれを身に付け、心も体も頭も次に進級する準備が完了したという年1回の修了証書授与式。

2 **反省**…まとめの3学期の**まとめを生かす**！4月に立てた目標を1年間でどれだけ達成できたか**振り返り**、1年生は**進級への準備**に！2年生は**最上級生となる準備**へ生かして！

3 **感謝**…頑張れたのは多くの方々が面倒を見てくれたという自覚と、その方々に**感謝の心を伝える**機会にしてほしい。**人**だけでなく学習用具・部活動用具等の**物**は、自分と共に歩み自分の成長を手助けしてくれたはず。**感謝の気持ちを持てる=精神的に大人になった証**。精神的に未熟=自分のことしか考えず周囲や自分を支えてくれている人、自分の成長を助けてくれる物に気づかず人や物を大切にできない。周囲の支えをありがたいという**感謝の心**があって初めて人は安心して次のステップへと進める。感謝の気持ち大切に！



4 **新年度**…後輩迎える1年生は新入生の直接の先輩。新入生の手本となる。**先輩とはどうあるべきか?**=尊敬した先輩を思い浮かべてみれば分かる。著しく成長を遂げた1年生は**やらされるのではなく自分からやろう**という行動ができ**中学生のプロ**らしくなってきた！さらに、1ミリの前進を続けてほしい。0(ゼロ)では前進できない。**先を考えた行動**を取り、リーダーに相応しい自分を創り上げてほしい！

2年生は本校の最高学年・リーダー・**学校の顔**で、学校生活のすべてにおいて**方向性や雰囲気**を決定する。君たちが一生懸命なら全校生が一生懸命になる。期待され大きな責任が伴い態度と実行で模範を示せ！自分の**理想像に一步でも近づく**努力を！立志式の決意発表・合唱「虹」で感動させた経験がある。**真のリーダー**としての活躍を下級生も先生方も期待している。そのために「人は変わる」のではなく「**自分を変える**」ことが大切！

5 **非日常が**…が続く。新型コロナウイルス感染症予防の対応…正解のない、見えざる敵との闘いの中にある。**困難な時**ではあるが、この非日常を「君たちはどう生きるか」から**私たちはどう生きるか**…考え問い続けてほしい。君たちは一人じゃない。応援してくれる**親・家族・仲間**そして**先生=生涯の師**がいる。何かあったら相談してほしい。

健康に注意し、感染症や交通事故にも十分に注意して**命を大切**にしてほしい。また、この春休みは自分の花を咲かせ大きく成長するチャンスにしてほしい！

君たちの活躍を期待し令和元年度を修了します。

「卒業式」に代表として出席をして …①

3/9(月)の卒業式には在校生代表として生徒会正副会長3名が出席しました。

修了式の校長式辞の際に、卒業式に出席した感想を語ってもらいました。

今回は、1年生の半田時季也さん(1-2)の感想を紹介します。



在校生も含めて、みんなで卒業式ができと思っていたのですが、それができなかったのも、とても残念でした。

卒業合唱は、EXILEの「道」で、中学校の思い出が伝わる最高の合唱でした。その後、卒業生が「今まで、ありがとうございました」と言ってくれました。「こちらこそ、ありがとうございました」と心から思える卒業式でした。

退場では、在校生が3人しかいないので、みんなの分までたくさん拍手をして見送ることができました。

2年後は僕たちの番なので、みんなでたくさんの思い出をつくらせていきたいです。

半田時季也(1-2)



校長式辞の途中で、突然の指名にもかかわらず、しっかりと感想を述べてくれた半田さん、ありがとうございました。

次号では、在校生代表として送辞を述べた那花衣桜

里さん(2-1)の感想を掲載する予定です。

では、健康に注意して生活をしてください。

